

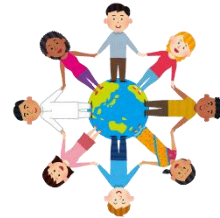


## ホストファミリー報告会およびアンケート

### ◆得られたこと・良かったこと◆

#### 全コース共通

- 「ゲストに楽しんでもらおう」と家族が一丸となり、皆で協力して過ごすことができた。共通の話題を持てた。
- 仕事人間の主人が早く仕事を切り上げて帰ってきたり、率先して予定を考えるなど、家族の時間がぐんと増えた。
- 相手の国のことをいろいろと知ることができた。
- 受入生徒だけでなく、わが子について学ぶ機会になった。
- 最初は不安しかなかったが、受入をして本当によかったと心から思えた。
- 会話が増える、家族が増える、友達が増える、笑が増える、視野が広がる。



#### フェニックス市

- 息子と年が近いので、本当の兄弟のように仲良く過ごせた。
- いつも笑顔で、自分の希望を何でも言ってくれるので、こちらも気を遣わず家族のように過ごせた。
- 夏に派遣予定の娘にとって、さまざまなことを学び、心の準備をする機会になった。

#### 太原市

- 素直で明るく前向きな生徒で、同い年の高校生の娘が刺激を受けた。筆談で意思疎通できるのも素晴らしい。
- 紳士で心配りができる生徒で、国に対して漠然と持っていたイメージがガラリと変わった。
- 幼い娘が受け入れた生徒を慕い、とてもいい影響を受けたようだ。また会えると信じて楽しみにしている。
- おとなしく躡が行き届いていて、自分自身の子育てや家族の在り方について省みる機会になった。
- 子どもが全員「来年も受入をしたい」と言っている。中1の娘は最後に号泣。帰ってしまって本当にさみしい。
- 最終日、見送って帰宅すると置き手紙があり涙した。祖母もまた受入をしたいと言っている。

#### アデレード市

- 親だけでなく、親戚中の老若男女がコミュニケーションを取ろうとし、英語が上達した。
- 笑顔で来て、笑顔で過ごしてくれただけで満足。
- こちらの気遣いに対し、相手が応えてくれてうれしかった。
- ネガティブな面は本当になし。

#### 昌原市

- 普段は皆それぞれ忙しくしているので、これだけ一緒に過ごしたことはない！というほど貴重な家族の時間が持てた。
- 交流会に兄弟姉妹も参加し、年齢を超えていろいろな人と交流できて楽しかった。
- 娘がお世話になった家のお子さんなので、娘も慣れていて家族も安心できた。
- 日本語のみならず、日本文化や歴史にも詳しく勉強熱心で、子供にもいい刺激になった。
- あまりに日本語が上手で、韓国語をまったく知らないこちらが恥ずかしくなるほど。
- 子どもたち同士で交流できる機会が何度かあり、仲が深まったようでとても楽しそうだった。
- 日本と韓国は距離が近いので、今後も交流が続けやすいのがいい。

### ◆苦労したこと◆



#### 全コース共通

- 食べものの好き嫌いがあり、偏食気味で気を遣った。
- 言葉。英語や筆談、スマートフォンのアプリなどを使ったり、絵を描いたりしてコミュニケーションを取った。
- 何でも「OK」という返事が多く、何がどの程度「OK」なのかかわからなかった。
- 気遣いができる子だったせいか、本音が気になった。あまり感情を出さないタイプだったからかも。
- エアコンや部屋の電気のつけっぱなしドアも開けたまま、ということが何度かあった。
- 困ったことはなかった。
- 毎日話し込んで、寝不足になってしまった（良いことですが）。



## フェニックス市

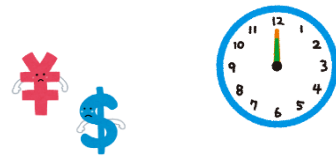
- 体調不良。時差や疲れもあってか、滞在当初はあまり体調がよくなかった。徐々に回復して一安心した。
- 学校が遠いので朝が早いのだが、夜遅くまで話が盛り上がり寝不足になってしまった。
- 現金が足りなくなった。1か月後のフェニックス市派遣で使えるから…と娘と個人間で両替することにした。

## 太原市

- "爆買い"。周りに頼まれたものばかりで、自分には何も買わず少しかわいそうになった。
- 暑い時なので、熱中症が気になった。

## アデレード市

- 時間にゆったりしていたので、15分ほど余裕を見て予定を立てた。
- 修学旅行で子供が不在になるので心配した。兄弟ががんばってくれ、実際には意外に楽しい時間だった。
- 暑さ・寒さの感覚が大きくかけ離れているので、心配になった。
- いろいろしてあげたいと欲張って、途中で疲れてしまった。
- 10月初旬だが、意外に暑かった。扇風機を用意しておけばよかった。
- 外貨の両替をする場所がなく困った。
- 受入の時期、祭りの役に当たっていて大変だった。



## 昌原市

- 予定を詰めこみ過ぎたかも…。時間が足りず、家族も「あと2~3週間いてくれたら」と言っていた。
- 聞いていた他に苦手な食べ物があった。

### ◆その他（希望など）◆

- 日本や姫路についてある程度知識を持って来てほしい。日本語で簡単なあいさつや自己紹介ができればベスト。
- 「学びたい」という姿勢を持って来てほしい。
- 学校登校が楽しかったようなので、日にちを増やしてあげてほしい。
- 受入期間が実質5日と短く、せめて7日間欲しい（太原市コース）
- 子ども同士で過ごせる時間を増やしてほしい。

### ◆これからホストファミリーをされるご家庭へのアドバイス◆



## 事前準備

- 来日までにはできるだけ多くの情報交換をする。お互いの家族の写真も交換しておくとしみやすくなる。
- 日本（姫路）で行きたいところや食べたいものなど、できるだけ聞いておくとしみやすくなる。
- 家族の役割分担（送り迎えなど）をある程度決めておく。

## 滞在中

- 受入環境を整えることより、大切なのはコミュニケーションだとわかった。伝えよう、相手を理解しようと思う気持ちが双方に必要なと思う。言葉が通じなくても、日本語とジェスチャーで気持ちは伝わります！
- ありのままがいい。お客様扱いではなく、家族の一員という気持ちで接することが大切。
- 日本を知ってもらおう！あれもこれも…と力を入れすぎると、自分も相手も疲れてしまう。気軽に普段通りの生活を心がけるといい。
- 男女ペアになり心配したが、まったくの取り越し苦労。同性同士でも問題がある時はあるだろうし、男女の方が上手く行く場合もあるので、気にしなくていい。
- ホストファミリー同士で一緒に行動するなどして助け合うとよい。不安も解消される。
- 家庭料理を一緒に作れば、楽しんでもらえて仲も深まるのでは？
- 一人の時間、ホッとする時間も作ってあげるといいと思う。
- 希望を聞いて「どちらでもいい」という場合は、選択肢を与えて選んでもらうと楽ですよ。

## その他

- やってみれば何でもできるものだと思った。
- 全部ひっくるめてまた受入をしたい！と思う。
- 何度か受入を経験したが、国が同じでも受け入れる生徒によってまったく違う体験になるのがおもしろい。